

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【公開番号】特開2009-114280(P2009-114280A)

【公開日】平成21年5月28日 (2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2007-287205(P2007-287205)

【国際特許分類】

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 17/00

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月5日 (2010.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

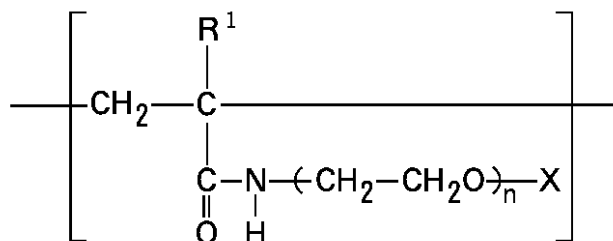
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

高分子分散剤、顔料、および水から主としてなる顔料分散液において、前記顔料が前記高分子分散剤でカプセル化されており、上記高分子分散剤が、少なくとも疎水性ユニットと親水性ユニットからなり、該疎水性ユニットが少なくとも 1 種の疎水性モノマーからなるブロック部を有し、該親水性ユニットが少なくとも下記一般式 (1) のアクリルアミド構造の繰り返し単位構造を有する共重合体であることを特徴とする顔料分散液。

一般式 (1)

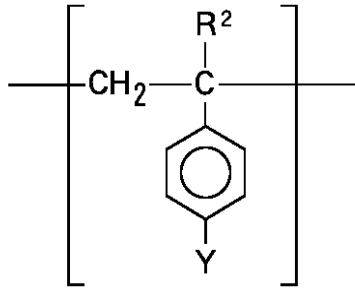


(式中、 $\text{R}^1$ は水素原子またはメチル基を、 $\text{X}$ は水素原子または炭素数 1 から 4 のアルキル基を表し、 $n$ は 1 から 10 である。)

【請求項 2】

疎水性ユニットの疎水性モノマーからなるブロック部が、下記一般式 (2) の繰り返し単位構造からなるブロック部である請求項 1 に記載の顔料分散液。

## 一般式 (2)



(式中、 $\text{R}^2$ は水素原子またはメチル基を、 $\text{Y}$ は $-\text{R}^3$ 、 $-\text{OR}^3$ または $-\text{COOR}^3$ を表す。ここで $\text{R}^3$ は炭素数1から18のアルキル基を表す。)

## 【請求項3】

前記顔料が、C.I.ピグメントイエロー3、74、93、95、109、120、128、138、151、175、183、184；C.I.ピグメントレッド12、122、184、202；C.I.ピグメントバイオレット19、32；C.I.ピグメントブルー15：1、15：2、15：3、15：4、15：6、16；C.I.ピグメントグリーン7；およびC.I.ピグメントブラック1、7、10、31、32である請求項1または2に記載の顔料分散液。

## 【請求項4】

親水性ユニットが、アニオン性の親水基を有するセグメントを有している請求項1～3のいずれか1項に記載の顔料分散液。

## 【請求項5】

親水性ユニットが、前記一般式(1)の繰り返し単位構造からなるブロック部とアニオン性の親水基を有するセグメントのブロック部とを有している請求項4に記載の顔料分散液。

## 【請求項6】

高分子分散剤が、前記一般式(2)の繰り返し単位構造からなるブロック部、前記一般式(1)の繰り返し単位構造からなるブロック部およびアニオン性の親水基を有するセグメントのブロック部の順番で少なくとも構成されている請求項5に記載の顔料分散液。

## 【請求項7】

カルシウムイオンおよび/またはマグネシウムイオンを含み、これらのイオンが総量(A)で、前記高分子分散剤(B)に対してA：Bが1：100000以上1：100以下の質量比の範囲で含有されている請求項1に記載の顔料分散液。

## 【請求項8】

請求項1から7のいずれか1項に記載の顔料分散液と、少なくとも水溶性有機溶剤とを混合させてなることを特徴とするインクジェット記録用インク。

## 【請求項9】

インクにエネルギーを与えて、該インクを飛翔させて被記録材に付与して行うインクジェット記録方法において、上記インクが、請求項8に記載のインクジェット記録用インクであることを特徴とするインクジェット記録方法。

## 【請求項10】

エネルギーが、熱エネルギーである請求項9に記載のインクジェット記録方法。

## 【請求項11】

インクを収容したインク収容部を備えたインクカートリッジにおいて、該インクが請求項8に記載のインクジェット記録用インクであることを特徴とするインクカートリッジ。

## 【請求項12】

インクを収容したインク収容部を備えたインクカートリッジと、該インクを吐出させるためのヘッド部とを備えたインクジェット記録装置において、該インクが請求項8に記載のインクジェット記録用インクであることを特徴とするインクジェット記録装置。